

エコ タイムズ Eco times

～熊本県環境センターだより～

92号

2020年度



環境センター前の芝生広場から見た景色

目 次

- | | | | |
|-------|-------------------------|------|------------------|
| P 1 | 内容紹介（表紙） | P 8 | イベント報告 |
| P 2～4 | 令和2年度環境絵画コンクール | P 9 | 荒尾干潟水鳥・湿地センターの紹介 |
| P 5・6 | 県からの情報
（環境保全課、高校教育課） | P 10 | エコマンガ |
| P 7 | 最近の環境問題（小学校低学年向け） | P 11 | 環境センター感染防止対策の紹介 |
| | | P 12 | 環境センター事業紹介、新刊紹介 |

「令和2年度熊本県環境絵画コンクール」入賞作品の紹介

「令和2年度熊本県環境絵画コンクール」は、県内の小学生を対象に、日頃環境について考えていることや感じていること、こうなったらいいなと思うことなどをテーマに募集しました。今年は、県内93の小学校から1,866点と過去最高数の出品がありました。その中から特選各学年2点、入選同4点、佳作同4点の合計60点の入賞作品を選びました。出品して下さった小学生の皆さん、応募を呼び掛けていただいた関係者の皆様ご協力ありがとうございました。

特選

5年 田崎 亜弥
熊本市立一新小学校



1月 環境センター賞 「天草の夕やけの海」

3年 高橋 依礼奈
益城町立広安小学校



2月 グランメッセ賞 「だんごむし大すき」

2年 稲田 倫
熊本市立大江小学校



3月 グランメッセ賞 「生きものいっぱい池」

1年 佐藤 心寧
南阿蘇村立両併小学校



4月 グランメッセ賞 「ぼったとあそんだよ」

4年 八坂 明美花
熊本市立健康東小学校



5月 環境センター賞 「いつまでものこしたいきれいな川」

2年 岡 遼平
熊本市立壺川小学校



6月 再春館製薬所賞 「たのしかった川あそび」

5年 圓山 晴花
熊本市立出水小学校



7月 環境センター賞 「きれいな蓮池の自然」

6年 山中 香桜
熊本市立榎木小学校



8月 グランメッセ賞 「あお空色の朝顔」

6年 友口 果保
熊本市立一新小学校



9月 環境センター賞 「大切にしよう。みんなの海」

1年 采女 照眞
熊本市立田迎小学校



10月 環境センター賞 「あかとんぼ」

4年 坂口 虎雅
熊本市立武蔵小学校



11月 グランメッセ賞 「ボクが守りたいあその山」

3年 西小路 りほ
益城町立広安小学校



12月 環境センター賞 「海の中のなかまたち」

今年度は、コロナ禍の中、出品が少ないのではと危惧していましたが、過去最高数となりました。県内小学生の環境に対する意識の高さに驚きました。出品された絵画はどれも甲乙つけがたい素晴らしいものばかりでした。残念ながら表彰式を行うことはできませんでした。応募いただきありがとうございました。

なお、入賞した作品は、3月31日（水）まで、グランメッセ熊本に展示していますので、ぜひご覧ください。



審査会の様子

入選

入賞した作品を掲載した「2021くまもとエコカレンダー」を作成し配付しました。まだ、若干余りがあります。センターにお越しいただいた際には、無料で差し上げます。

1年



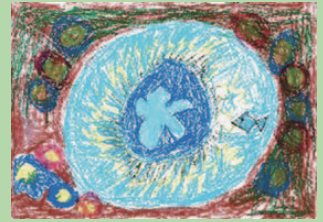
「てんとうむしをみつけたよ」
南阿蘇村立両併小学校 後藤 美七海



「しおまねき」
熊本市立春日小学校 浪治 佳央



「おはなとむし」
熊本市立榎木小学校 井芹 日向子



「くらげにはきをつけてね」
益城町立広安西小学校 神村 光

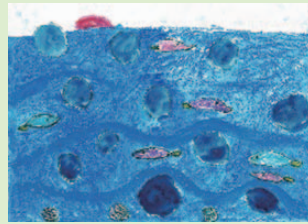
2年



「大きなバタがビョーンピョン！」
熊本市立飽田東小学校 植田 結愛



「げんきなくわがたむし」
益城町立広安西小学校 橋本 直二郎



「海」
熊本市立榎木小学校 王 悠可



「ダイバーさんのゴミひろい」
熊本市立秋津小学校 岡崎 翠

3年



「自然（空と海）」
熊本市立榎木小学校 飯野 瑞空



「はじめてのたき」
熊本市立大江小学校 水上 結里加



「夜の海のなかまたち」
益城町立広安小学校 清田 愛生



「きれいな海」
熊本市立池田小学校 松田 武琉

4年



「明るいくま川」
熊本市立榎木小学校 伊差川 あい



「都呂々小学校のシンボル【あこうの木】」
苓北町立都呂々小学校 鶴田 健斗



「自然の中でたくさん遊びたい」
熊本市立託麻原小学校 江橋 清花



「熊本のきれいな水と草花」
熊本市立託麻原小学校 江橋 陽花

5年



「とんぼ」
熊本市立山ノ内小学校 坂本 真愛



「美しい自然」
熊本市立尾ノ上小学校 渡邊 亜唯



「自然いっぱいながみ橋」
熊本市立榎木小学校 城塚 芽衣



「私の町西里」
熊本市立西里小学校 杉町 美歩

6年



「ヒゴタイと阿蘇のあか牛」
熊本市立西里小学校 安達 拓希



「植林と私」
熊本市立田迎西小学校 金子 玲菜華



「4月の桜これからも」
熊本市立託麻原小学校 前村 優羽乃



「自然豊かな球磨川」
熊本市立向山小学校 山下 慧

佳作

1年



「さかなつりのうみ」
熊本市立大江小学校 有働 直人



「ちきゅうのせかい」
益城町立広安西小学校 中野 未来



「きれいなうみ」
熊本市立麻生田小学校 竹本 慎之介



「しぜんをたいせつにしよう」
玉名市立小天小学校 竹内 勇輝叶

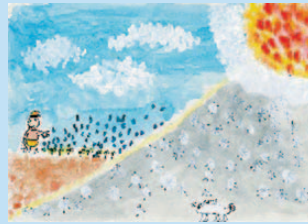
2年



「水をだいに」
熊本市立川尻小学校 高橋 千愛



「メダカのすむ川」
熊本市立楡木小学校 杉山 子竜



「たねをまいたよ」
熊本市立託麻原小学校 木庭 みつき



「木をきっている人」
熊本市立託麻原小学校 坂井 心咲磨

3年



「友だちと水遊び」
熊本市立壺川小学校 石原 優心



「ぼくの大切な地球」
大津町立美咲野小学校 矢口 竜乃介



「自ぜんの中の虫」
熊本市立力合西小学校 島村 しほ



「草千里のうま」
熊本市立出水南小学校 彌永 怜玖

4年



「海にゴミを捨てないで」
熊本市立一新小学校 岩尾 莉杏



「大事な木」
益城町立広安西小学校 澤村 颯空



「世界の木」
益城町立広安西小学校 成富 希望



「きれいな海」
熊本市立田迎西小学校 長田 朱莉希

5年



「みんなの木」
熊本市立帯山西小学校 宗村 紗奈



「のめる水」
熊本市立託麻北小学校 宮本 航成



「清そう船「清海」」
熊本市立山ノ内小学校 石田 結衣



「自然豊かな江津湖の風景」
熊本市立出水南小学校 坂本 篤哉

6年



「未来に残そう豊かな海」
熊本市立田迎西小学校 古閑 日葉里



「豪雨前の人吉の風景」
熊本市立向山小学校 山崎 菜央



「私の思うきれいな自然」
熊本市立向山小学校 山田 花菜



「私の、のこしたい自然」
益城町立広安西小学校 恒松 晴

このコンクールは、熊本県環境センター・グランメッセ熊本主催、再春館製薬所共催により毎年行っています。来年度も開催予定です。

光化学スモッグやPM2.5に注意しましょう

熊本県環境生活部環境局環境保全課

◎光化学スモッグについて

4月から10月にかけて、日差しが強くて気温が高く（20℃以上）、風の弱い、視程が悪い日に発生しやすくなります。光化学スモッグによる影響として、目がチカチカする、涙が出る、のどが痛いなどの症状が出る場合があります。

光化学オキシダント濃度が基準を超えたら「光化学スモッグ注意報」を発令します。注意報が発令されたら、屋外での運動などをやめ、屋内に入ってください。もし、症状が出た場合、きれいな水道水などで洗眼・うがいなどを行い、安静にしてください。また、息苦しさを感じたり、胸が苦しくなったときは、医師の診察を受けてください。



光化学スモッグ発生のメカニズム



◎PM2.5（微小粒子状物質）について

冬季から春季にかけて濃度の変動が大きく、上昇する傾向がみられます。物の燃焼や大気中での化学反応により生成し、粒子が非常に小さいため、肺の奥深くまで入りやすく、喘息や気管支炎などの呼吸器系疾患のほか、肺がんのリスクの上昇や循環器系への影響も懸念されています。

PM2.5が暫定指針値を超えた場合、「注意喚起」を行います。注意喚起が行われたら、PM2.5の吸入を減らすため、屋外での長時間の激しい運動や外出、外気の屋内への侵入をできるだけ減らすことが有効です。

◎「大気環境情報メール」について

県は、光化学スモッグ注意報やPM2.5の注意喚起について、メールでお知らせするサービスを行っています。

「sky@123123.tv」に空メールを送信し、自動返信されるURLにアクセスして、指示に従って登録してください。

(QRコードはこちら) →

※迷惑メール対策を行っている方は、「123123.tv」のドメイン指定受信など事前の設定をお願いします。



お問い合わせ先：熊本県環境生活部環境局環境保全課 096-333-2269

県立学校における環境教育の取り組みについて「学校版環境ISOの取組」

熊本県立菊池農業高等学校

1 宣言項目

- ①ゴミの減量に努めます。
- ②ペットボトル・紙パックの分別に努めます。
- ③ビン、カン類を校内に持ち込みません。
- ④照明、冷暖房を節電し、電気使用量を昨年度比3%削減します。
- ⑤校舎・校庭の美化作業に努めます。
- ⑥家庭でも環境に良いことを実行します。



【環境ISO宣言（生徒総会）】

2 行動内容

- (1) 全校集会時に美化委員長より環境ISO宣言をした。
- (2) 環境ISO宣言を教室や職員室等に掲示した。また、チェックシートを記入し、取組状況の見直しを行った。
- (3) クリーン活動と教室の美化コンクールを毎学期に実施した。
- (4) 電気の使用量を毎月報告し、節電に努めた。



【クリーン活動】

3 見直し

(1) 取組状況をチェック（よくできた・できた・あまりできていない・できていない）

※「よくできた」、「できた」と解答した生徒の割合（生徒数378名）

チェック項目	前年(12月)	本年(7月)	本年(12月)
1 ゴミの減量に努めます。	73%	93%	86%
2 ペットボトル・紙パックの分別に努めます。	96%	99%	96%
3 ビン、カン類を校内に持ち込みません。	98%	98%	98%
4 照明、冷暖房を節電し、電気使用量を昨年度比3%削減します。	51%	61%	63%
5 校舎・校庭の美化作業に努めます。	81%	88%	89%
6 家庭でも環境に良いことを実行します。	68%	78%	80%

(2) 節電の取組

使用料(kwh)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
令和元年度	40,356	47,782	71,104	84,209	67,576	79,716	54,780	445,523
令和2年度	30,886	37,894	70,575	77,066	90,110	70,480	47,446	424,457
前年度比	77%	79%	99%	92%	133%	88%	87%	95%

4 成果

活動を通し、各クラスの美化委員が中心となり積極的に取り組む姿勢が見られた。環境美化や節電意識の高まりやゴミの分別が徹底され、ゴミの減量化に繋げることができた。また、美化コンクールにおいては、日頃から教室の整理整頓の意識が高まり、学習環境の向上にも繋がった。



【教室の様子】

最近の環境問題について

※この内容は小学校低学年向けに作成しています。ぜひ、お子さんと一緒にご覧ください。

【小学校低学年向け】SDGs（エス ディー ジーズ）とは



せかいではおおくのひとがこまっている。

まずしくておなかがすいているひとがいるのに、ほかのくにではたべものがどんどんすてられている。

うみがよごれて、ごみがおさかなよりもおおくなってきた。

みんながおおきくなったときに、いまとおなじようにくらしなれない。

せかいのみんながおなじようにあそべないかもしれない。

いまも、みらいもおなじようにくらすように、せかいできめたもくひょうが「SDGs（エス ディー ジーズ）」



せかいじゅうのみんなで、もくひょうにとりくんでいる。わたしたちにできることはなんだろう？

ごはんをのこさずにおいしくたべる

おもちゃをたいせつにする

きみにはなにができるかな？（じぶんにできることをかこう）



さあ、やってみよう！

（参考「わたしがかわる みらいもかわる」(汐文社)

※環境センターには、幼児から大人まで読める SDGs の本を幅広く取り揃えています。ぜひ、ご利用ください。

【SDGs 関係の本（一部）】

- ・世界がぐっと近くなる SDGs とボくらをつなぐ本（池上彰 監修）
- ・目で見ると SDGs 時代の環境問題（ジェス・フレンチ 著）

環境センター 館内・館外 イベント報告

■ 星空観察会

9月12日（土） 熊本県環境センター（21人参加）

環境教育指導者の艶島氏（熊本県民天文台 台長）を講師にお招きして、夏の大三角などを観察しました。星についての詳しい話を聞き、肉眼で、木星や金星などを観察することができました。



■ 干潟どろんどろん観察会

9月19日（土） 長浜福祉館及び住吉海浜公園（19人参加）

環境教育指導者の森氏（ひのくにベントス研究所 所長）を講師にお招きして、干潟で生き物を取り、観察しました。子どもたちが興味津々にカニや魚を見て、たくさん質問をしていました。



■ UVビーズストラップ&化石レプリカを作る

10月18日（日） 熊本県環境センター（20人参加）

地球環境や恐竜についての学習をして、親子で楽しく製作活動をしました。家庭でも実験をしてみたいという参加者もあり、貴重な学習の機会となったようでした。



■ まつぼっくりでクリスマスツリーを作る

11月28日（土） 熊本県環境センター（23人参加）

まつぼっくりやドングリを使って、クリスマスらしいデコレーションをつくりました。皆さん集中して取り組んでいて、大盛況でした。



Welcome to 荒尾干潟水鳥・湿地センター




熊本県北西部、東の小岱山から西の有明海へとつながりな丘陵が広がる荒尾市。その荒尾市に、令和元年8月10日、全国で11番目となる環境省の水鳥・湿地センターがオープンしました!!

本センターは、
荒尾干潟の情報を
発信する
荒尾干潟を
守る
活動を
荒尾干潟や
周辺の自然環について
学ぶ
活動する人々が
交流する
干潟について
調査する
など、様々な活動の
拠点となることを
目指しています。

2階からは
干潟を見渡せます!!



本センターでは、荒尾干潟についての講座や館内ガイドツアー等を行っています。

-  貝や流木などを使って作る
クラフト教室
-  海岸や松林で
バードウォッチング
-  *** テーラー乗車体験**

* テーラーとは、耕運機に荷台をつけた乗り物です。これに乗って荒尾干潟の沖合まで体験乗車ができます。

などの体験や自然観察会も開催しています。お待ちしております!!



所在地	荒尾市蔵満 20-1
TEL	0968-57-7444
営業時間	9:00~17:00
定休日	月曜(祝日の場合は、翌平日)・ 年末年始(12/29~1/3)
入館料	無料
ホームページ	https://www.city.arao.lg.jp/g/list/537.html



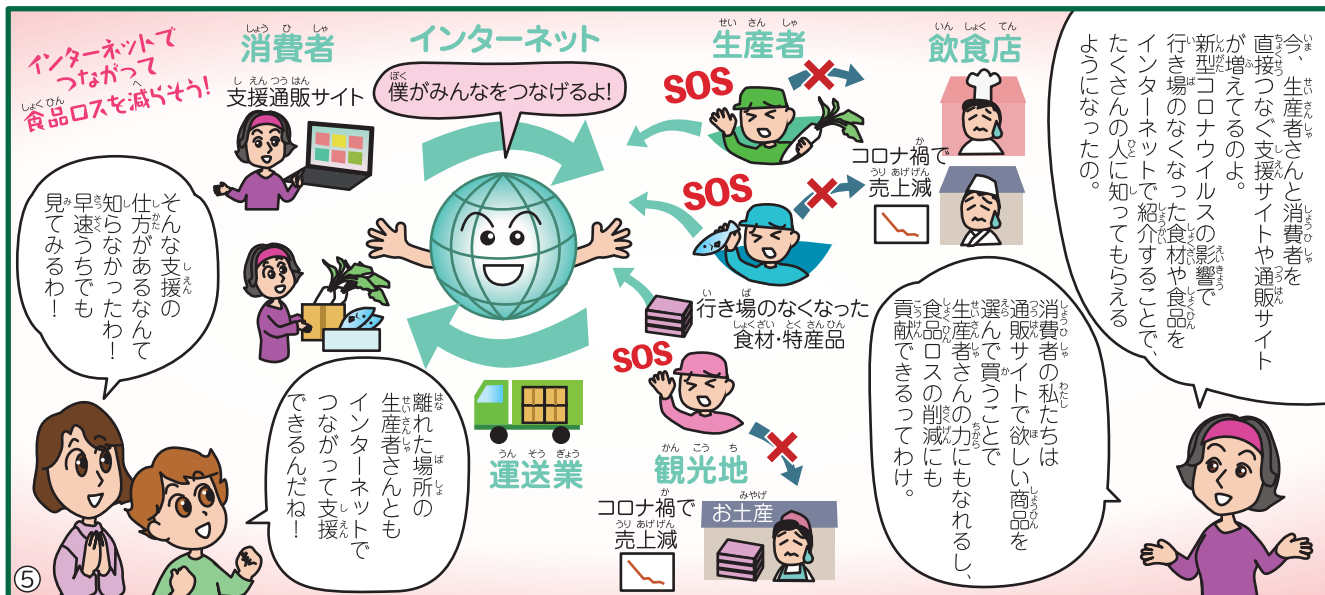
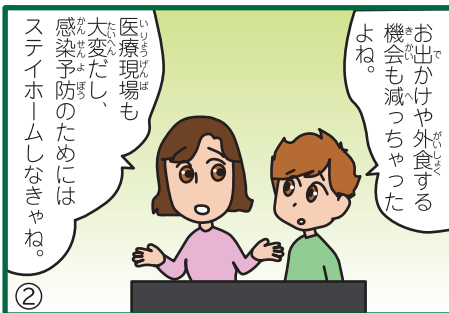
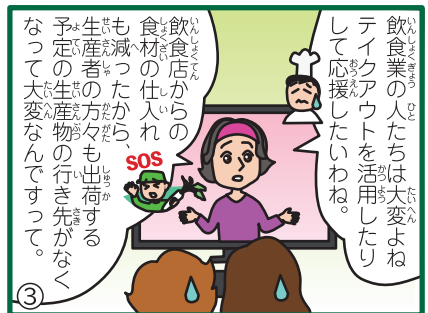
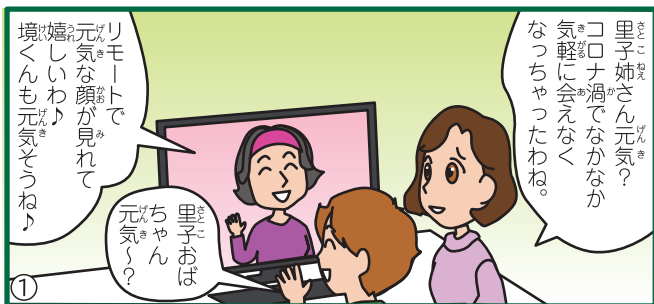
きみにもできる

エコアクション!



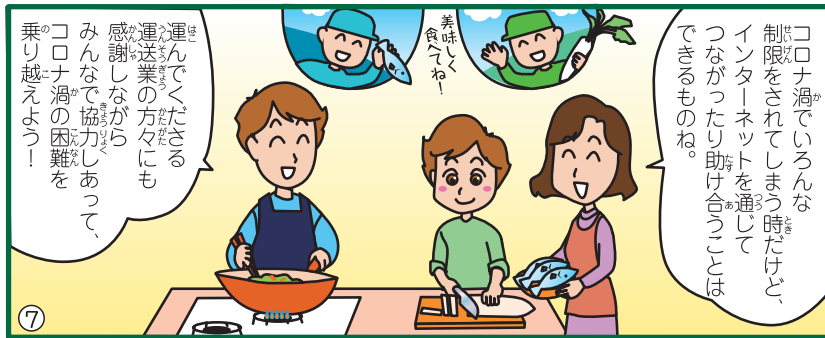
その39 インターネットであつながつて食品ロスを減らそう!

by すとら



そのう編集後記

コロナ禍が長引く中、生活様式の変化によって苦境にたたされている業種も少なくありません。そんな中、空間を超えて人と人を繋ぐ手段としてインターネットがいろんな分野で活躍しています。食品ロス削減の支援サイトもその一つ。食品ロスになってしまいそうな食材をネットで購入することで、生産者さんも支援できるし食品ロスも削減できて地球環境にも優しいですね。感染防止に努めつつ、お互い助け合ってコロナに負けず経済を回していきたいと思います！



環境センターの感染症対策について

熊本県環境センターでは、新型コロナウイルス感染症防止のため、国や関係機関からの最新情報の収集に努めながら、対策を行っています。

センターの入り口に、「感染症防止の対策についてと来館者へのお願い」を掲示しています。来館される際はご一読ください。

（感染症防止の対策）

- ① 出入り口などに手指消毒液を設置しています。
- ② ドア、手すりなどを1日2回以上消毒しています。
- ③ 出入り口や窓の常時開放等による換気を徹底しています。
- ④ 職員のマスク着用、手指の消毒、検温等による健康管理をしています。

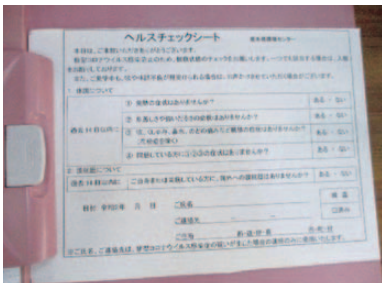


消毒液自動噴霧器



（来館時（当日）のお願い）

- ① 本日の体調についての確認をお願いします。
- ② マスク着用をお願いします。
- ③ 受付（本館2階）にて、ヘルスチェックシートの記入と検温をお願いします。



ヘルスチェックシート



非接触型体温計



職員手作りの飛沫防止板

※ヘルスチェックシートには、体調の確認と、住所・連絡先等をご記入いただきます。

住所・連絡先等は感染症発生時の連絡のみに使用します。

みんなで対策、予防を徹底して、楽しく環境について学びましょう！



環境センターの
最新の情報は、
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/50/>
でご確認ください。

情報プラザ特集

ご利用ください！環境センター出前講座

①動く環境教室

環境センターの職員がご希望のテーマに応じた環境学習を行います。

【内容】

無料

- ・環境問題についての講義
- ・環境学習とものづくり
(リ・グラスアート、万華鏡作り、紙すき、UVビーズストラップ作り、化石レプリカ作り等)
- ・川や海の生きもの観察
- ・ネイチャーゲーム等



②エコロジスト

・リーダー派遣

エコロジスト・リーダー養成講座を修了したエコロジスト・リーダーが体験学習や伝統文化の体験の場を提供します。

【内容】

1体験につき
材料代(実費)

- ・体験学習
(里地・里山学習、食育・エコクッキング、紙すき体験等)
- ・自然素材を生かしたものの作りや伝統文化の体験
(竹箸づくり、水引リサイクルアート等)



③環境教育指導者派遣

各分野の専門家や大学教授が環境学習を行います。

【内容】

無料

- ・講演会・学習会
(環境保全、自然環境、消費者教育、動植物など各種講演・学習会)
- ・自然観察会
(生きもの・植物・星空観察、大気・水・地質などの環境についての観察や測定など)



対象 熊本県内の学校、公民館、PTA、子ども会・自治会、企業、市町村などの各種団体

予約手順

①電話予約→②申込書提出→③派遣決定書通知→④事前打ち合わせ→⑤環境学習の実施
《県内どこへでも出かけます。まずは、お気軽にお電話ください。》

※原則として、「館内学習」「動く環境教室」は予約希望日の前月20日まで。

※「エコロジスト・リーダー派遣」「環境教育指導者派遣」は予約希望日の4週間前までにご予約ください。

情報プラザだより

新しい図書がはまりました

一般書

- ◆海洋プラスチックごみ問題の真実 磯辺篤彦 / 著
- ◆気候大異変 いま地球で何が起きているのか
日経サイエンス編集部 / 編
- ◆レスキューナースが教える新型コロナ×防災マニュアル
辻直美 / 著
- ◆やっぱり、このゴミは収集できません
滝沢秀一 / 著

児童書

- ◆水族館のサバイバル①② ゴムドリ co. / 著
- ◆目で見るとSDGs時代の環境問題
ジェス・フレンチ / 著
- ◆No.1図鑑 恐竜・古生物 土屋健 / 著
- ◆ドラえもん探求ワールド 自然の脅威と防災
藤子・F・不二雄 / 著

あとかぎ

本年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、多くのイベントを中止・延期しました。参加される皆さまの健康と安全を最優先に考えた結果でしたが、非常に残念でした。そのような中でしたが、感染防止対策を徹底しながら、来館し、環境学習を行ったグループもあり、県民の皆さまの高い環境意識に感動しました。今後もこのような状況下ではありますが、環境についての情報発信等を行ってまいります。また、今後の開館状況等はホームページにて随時更新しますので、ご参照ください。



熊本県環境センター

〒867-0055 熊本県水俣市明神町55-1 TEL.0966-62-2000

FAX0966-62-1212

E-mail: center@kumamoto-eco.jp

■開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日：毎週月曜日（月曜日が祝・休日の場合は次の平日）、年末年始

発行者：熊本県
所 属：環境センター
発行年度：令和2年度